

団体名		公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団				
①	指標名	お客様満足度の向上			目標値	管理・運営施設のモニタリング評価における利用者アンケートの総合満足度 いずれも90%以上
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:施設)	7/17	5/17	4/17	令和6年度は、17施設中4施設であった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
事業	設定理由等	モニタリング評価に係るアンケート調査において、総合満足度の結果、「満足」+「概ね満足」の合計値の割合が、90%以上は「非常に高い満足度を得ている」と判定される。法人としての対応には限界のある建物や設備等に関する満足度だけではなく、職員の対応や情報提供などを含め、すべての指定管理施設において利用者の満足度の向上を図るものである。				
	取組内容	アンケートを構成している「職員の対応」「建物・設備・備品等の管理」「情報の提供」「利用者の意見の反映」「事業への取組」「安全管理体制」「地域との連携」「その他」の各項目について、満足が得られるように指定管理施設を管理運営する。職員及び委託先社員の接遇意識の向上、清掃、設備備品等の点検、ホームページ等による情報発信、利用者からのご意見等への対応等を日常的に取り組むとともに、公益的な事業の展開、防災訓練、地域団体との共同等について、計画的に取り組む。				
②	指標名	業務受託収益を除いた経常収益			目標値	業務受託収益を除いた経常収益を前年度より増加させる
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:円)	111,062,266	135,771,577	166,809,499		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
財務	設定理由等	「武蔵野市財政援助出資団体の見直しに関する基本方針」に「財援団体の自立性やガバナンスを高める」べきことが記載されており、経営における自立性の確保は、一義的には経常収益の増加に努めることが必要である。そのため、業務受託収益以外の収益について、自主財源になりうる収益について確実に確保することが必要である。数値については、経常収益のうち、事業収益における業務受託収益を除いた額とする。				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業による業務受託収益以外の収益を確保する。</li> <li>物品販売収入や広告料収入を継続して得ることを検討する。</li> <li>質の高い公演等を実施するとともに、友の会会員の増加を図り、もって、チケット購入者を増加させることにより、鑑賞料収益を増加させる。</li> <li>基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で行う。</li> </ul>				
③	指標名	法人管理の効率的な事務執行			目標値	本部事務局管理課職員の超過勤務時間を削減する
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:時間)		1,885	1,938		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
内部	設定理由等	合併後、文化事業部の給与計算・振込等を本部事務局へ集約、スポーツ事業部の委託契約業務を事業部へ分担させる等、職員及び法人の管理に係る事務事業の調整を継続的に進めている。中期計画に掲げる、「持続可能な業務執行体制の構築」を進めるため、事務の効率化を進める。				
	取組内容	本部事務局は総合体育館1階事務室が執務場所となっているため、シフト制の勤務であり、館の運営業務も一定時間携わっている。館の庶務の振り分け等、効率的な業務執行を心がける。人事管理・給与計算システム及び会計システムを他事業部も含めて有効に活用することにより、本部事務局職員の超過勤務削減を目指す。				